市議会だより

市議会第2回定例会

平成23年市議会第2回定例会を、6月6日から27日までの22日間開催しました。

この定例会では総額1億8003万6000円の補正予算2件、条例関係2件、一般議案5件、報告5件、諮問1件、推薦1件、議員提案3件の合わせて19件を審議しました。審議日程は次のとおりでした。

▼**6月6日**の本会議1日目は、会期を22日間と決めた後、議案の提案説明を受け、人権擁護委員ならびに関市農業委員会委員を推薦しました。

▼**14日**の本会議2日目は議案質疑を行い、条例の一部改正など2件、工事請負契約の締結など一般議案5件を可決、承認しました。平成23年度関市一般会計補正予算(第1号)など2件をそれぞれ所管の各常任委員会に付託しました。続いて代表質問、午後から一般質問を行い、通告者18人のうち6人が当局の姿勢や方針について質問をしました。

▼**16日**の本会議3日目は6人が、一般質問を行いました。

▼**17日**の本会議4日目は6人が、一般質問を行いました。

▼**27日**の本会議5日目は、各常任委員長から付託案件の委員会審査結果の報告が行われ、採決の結果、各常任委員長の報告のとおり可決されました。

また、議員提案3件も審議、採決(可決1件、否決2件)し、今定例会に付議された案件をすべて議了し閉会しました。

代表質問

市長マニフェスト

質問 市長マニフェストの進捗(しんちょく)状況

答弁 平成19年9月の市長選挙において掲げたマニフェストでは5つの基本政策、20の具体策を示しました。これまで3年9カ月間において、20のうち13項目についてはすでに実施、達成しており、他にも6つが現在取り組み中です。これからも「子育て支援」「健やかな教育」「安心できる老後」の3つを柱としたまちづくりを目指し、いかなる災害にも対応でき、安心して子どもを産み育てられる環境整備や医療・福祉体制の充実などを実現していきたいと考えています。

一般質問

健康福祉交流施設

質問 保健センター移設後の跡地利用の計画は

答弁 日ノ出町にある現在の保健センターの跡地利用については、先の定例会で第2養護訓練センターとして活用したいと答えましたが、その後の検討の中で、中心市街地に不足している、例えば多機能型高齢者グループホームや地域密着型特別養護老人ホームなどの高齢者介護施設や、障がい者が身近に通所できる授産施設など複合的な福祉施設を整備しては、との意見がまとまり、市民の皆さんに提案していきたいと考えています。

質問 施設完成後のランニングコストは

答弁 健康福祉交流施設のランニングコストについては、基本計画の中でこれまで約2億7780万円の増額を見込んでいるとの説明をしてきましたが、この中には新しい保健センターでの事業運営費や託児所、病児・病後児保育所の運営費などもすべて含まれていました。健康福祉交流施設の光熱水費や保守管理など、いわゆるランニングコスト(維持管理費)は年間約3200万円となります。また、施設内に移転後の新保健センターで計画していた新規事業については、子育て支援として子宮頸がんワクチン、肺炎球菌ワクチンの接種やがん検診の充実など、すでに今年度から前倒しをして実施しましたので、現時点での運営費の増額はありません。

質問 さまざまなニーズに対応できる託児の制度化は

答弁 託児事業については、多くの方からの要望があり、その中には24時間で預かってほしいと希望される方や障がいのあるお子さんをお持ちの方から、子どもを預けて働けるようにしてほしいなど、さまざまなご意見をいただいています。子育てをしながら安心して働ける環境の整備により、出生率低下に歯止めがかかるものと認識しています。そのためにも、24時間の託児など市として責任を持って制度化し、取り組んでいきたいと考えています。

市民親子無料入場券

施設 篠田桃紅美術空間
(若草通3-1) ☎23-7756
期間 7月26日(火)～8月31日(水)
※切り取って受付へ提出してください

市民親子無料入場券

施設 円空館
(池尻185) ☎24-2255
期間 7月20日(水)～8月31日(水)
※切り取って受付へ提出してください

市民親子無料入場券

施設 関鍛冶伝承館
(南春日町9-1) ☎23-3825
期間 7月20日(水)～8月31日(水)
※切り取って受付へ提出してください

災害対策関連

質問　避難所となる体育館の防災機能の強化を

答弁　指定避難所になっている小中学校には今年度からマンホールトイレを順次設置します。また東日本大震災を教訓に、指定避難所に防災備蓄倉庫の設置や避難所に必要となる備品、自家発電装置、太陽光発電設備などを計画的に整備できるよう早急に協議、調整していきます。また、倉知小学校体育館を始め、老朽化の著しい小中学校体育館についてもできるだけ早く改修していきます。

質問　上水道耐震化の計画

答弁　地震に特に弱い石綿管と布設後40年以上経過した鋳鉄管などを最優先に耐震化していく計画で、この延長は約33キロメートルです。平成32年度までを対象とした「関市水道事業長期計画」に基づき計画的に実施していますが、計画の進捗状況を見直しながら、今後は実現可能な耐震化計画を早急に策定していきます。

質問　行政組織の崩壊とどう向き合うか

答弁　東日本大震災において行政機能が麻痺する状況がありました。このような事態に市職員の行動としては、まず、普段から自分自身と家族の安全を確保しておく「自助」、そして自らリーダーシップを発揮して初期消火や救出救護を行う「共助」、これらを率先して行動した後、初めて庁舎などへ向かうこととしています。また、総合防災訓練のほか全職員を対象とした緊急連絡網訓練や幹部以上の職員への抜き打ち緊急参集訓練など、普段から危機意識の向上を図る訓練を行っています。しかし、災害における地域防災力の要は、自助と共助であり、その強化として市では、市民防災講演会の開催や自主防災組織連絡協議会の結成、緊急連絡網の作成依頼、防災訓練補助、防災資機材助成事業などの施策を進めていきたいと考えています。

質問　飲料水としてプールの水の利用は

答弁　プールの水の利用については、防災備蓄倉庫に配備しているろ過器を使用するよう整備していますが、現在の上水道配水池の貯水量や備蓄水量、そして衛生面を考慮して、すぐに飲料水としての利用は想定していません。ただし、生活用水としての利用は可能です。なお、わかくさ・プラザのプールにつきましては、ろ過した水を出す蛇口が設置してあります。

心肺蘇生法普及

質問　子ども救命士育成プロジェクト導入を

答弁　平成20年度から市内の中学1年生全員を対象に心肺蘇生法や自動体外式除細動器（ＡＥＤ）のトレーニングキットを配布し、救命救急の学習を実施してきました。またすべての小中学校に応急手当普及員資格を持つ教職員を配置し指導を進めています。今年度からはＡＥＤの練習用機器や人体モデルを購入し、小学5・6年生を対象とした講習会を行うなど、さらなる普及に努めていきます。

保育園の耐震化

質問　保育園施設の耐震化率は

答弁　平成22年度末で民間9園の耐震化はすでに完了しています。公立保育園については全12園中、板取めばえ保育園、富岡保育園、田原保育園、富野保育園、南ヶ丘保育園、西部保育園の6園が耐震に問題があると判断され、現時点の耐震化率は71・4％となっています。この6園については富岡保育園を皮切りに、平成24～25年の2年で残りすべての耐震化工事を完了する予定です。

放射線測定器

質問　放射線測定器（モニタリングポスト）の設置を

答弁　中濃消防組合消防本部では、県の依頼を受け、3月15日より毎日午前10時と午後4時の2回放射線量の測定を行っています。県内の消防本部では、震災前から毎週1回測定していましたが、現時点では、以前の数値と比較して、変動はありません。

この結果から、市としては、現在のところ放射線測定器を早急に設置することは考えていませんが、今後の動向を注視し、県や中濃消防組合と連携を図っていきたいと思います。

バイオマスタウン構想

質問　具体的な活動予定は

答弁　今回公表された構想では、農村部においては、林地残材などを利用した発電所と発電に伴う廃熱を生かした野菜工場やペレット製造設備の整備により地域振興を図り、都市部においては、家畜排せつ物、下水道汚泥、食品廃棄物を利用したメタン発酵により資源の有効利用を図っていくことを主要な事業とし、民間事業者の活力に期待するものです。市としても公共施設でペレットを燃料とする設備を取り入れることなどを提案し、バイオマスの利活用を推進していきたいと考えています。

ぎふ清流国体

質問　児童生徒の国体への関わりは

答弁　ぎふ清流国体は、国内のトップクラスの選手が集い、各競技の最高レベルの白熱した試合を見ることができるまたとない機会です。子どもたちには、のぼり旗作りや会場に飾る花の栽培など、さまざまな形で国体に関わりを持たせ、普段の教育活動の中では得られない経験をさせたいと願っています。また児童生徒が国体を観戦できるよう、来年度の教育課程や行事計画を作成していきたいと考えています。

留守家庭児童教室

質問　指導員の待遇改善を

答弁　現在、18教室で48人の常勤指導員を雇用しています。夏休み期間中は一日中開室するため、指導員を30人程度追加して雇用し、通常の2倍以上の指導員でローテーションを組んで対応しています。また、時間給については、平成21年度から時給820円を950円に値上げし、週20時間以上勤務する方は雇用保険に加入しています。

なお、臨時の指導員には、交通費を支給していませんので、自宅から近い教室へ配置するようにしています。

ふれあいセンター

質問　ふれあいセンター、公民センターの整備方針は

答弁　ふれあいセンターは、地域住民の交流と自治活動の支援などを目的に、平成5年度から現在まで旧関市で小学校区を基本に8カ所建設してきました。旧町村地域の地域拠点コミュニティセンターとしては、武芸川は生涯学習センターがふれあいセンターに該当し、洞戸は基幹集落センター、板取、武儀、上之保地域はそれぞれ生涯学習センターをふれあいセンターの該当施設としています。今後は小学校区ごとに要望のある地域で、建設用地が決定次第順次建設していく予定です。現在は、西部、洞戸、富岡、瀬尻地区から要望が出ており地元調整を進めているところです。また、公民センターについては平成20年度の政策総点検で新たに建設しない方針としています。

統一地方選挙

質問　市議会議員選挙の投票率は

答弁　今回の市議会議員選挙・関選挙区では、投票率は前回よりも5・48％下落しました。全国的にも、今回の統一地方選挙における投票率は低下傾向にありました。要因として、県議会議員選挙が無投票であったことに加え、東日本大震災による選挙運動の自粛ムードも重なり、有権者の選挙への関心が薄まったのではないかと考えています。市選挙管理委員会では、今後も効果的な啓発活動を実施し、投票参加への呼びかけを積極的に行い、投票率の向上に努めていきます。

江南関線の交通渋滞

質問　慢性的渋滞の対策は

答弁　沿線には東海北陸自動車道関インターや大型商業施設もあり、朝夕は関インターの高架下付近や大久後交差点付近、国道418号交差点で信号待ちによる渋滞が発生しています。こうした状況の中、平成21年度に久郷地内で信号機の設置を含む交差点改良、平成22年度には県道勝山山田線との交差点改良により、交通の円滑化が図られました。現在、国道248号バイパスの工事が小迫間・稲口地内で進み平成24年度に供用開始の予定です。また、現道の国道248号も小屋名から大久後交差点までの改良工事が平成24年8月の完成に向けて進められています。今後は、改良工事完成後の交通量の推移を経過観察したいと考えています。

老老介護

質問　現状と高齢者虐待防止

答弁　高齢者実態調査によると、高齢者が高齢者を介護する老老介護世帯は550世帯程度と推定され、介護者の割合は、夫、息子が高くなってきています。平成22年度の高齢者虐待に関する相談は延べ55件あり、うち虐待を受けた、または受けたと思われる件数は13件ありました。虐待を受けている方の約半数に認知症がみられ、介護者の認知症に対する理解が不十分なために虐待に及んでしまうケースが増えていますので、認知症の理解を深めるための教室や介護負担軽減のための「介護のつどい」などの開催を継続していきます。また、高齢者虐待の対応も含め、高齢者が地域で安心して暮らせるよう地域包括支援センターを設置しています。今後も関係機関が共通の課題について話し合う高齢者虐待防止ネットワーク会議を持ちながら、虐待の防止や早期発見に努力していきます。

審議の結果

◎6月6日可・推薦分

▼人権擁護委員の推薦▼関市農業委員会委員の推薦

◎6月14日可決分

▼関市職員の育児休業等に関する条例の一部改正▼関市税条例の一部改正▼工事請負契約の締結（関商工高等学校グランドクラブハウス等新築（建築）工事、関商工高等学校（商業科西館内部・工業科2号館）耐震補強工事、武儀・上之保統合診療所新築（建築）工事、旭ケ丘小学校屋内運動場改築工事、武芸川中学校（東舎）大規模改造工事）▼平成22年度関市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告▼平成22年度関市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告▼平成22年度関市下水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告▼平成22年度関市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告▼平成22年度関市上水道事業会計予算繰越計算書の報告

◎6月27日可決分・承認分

▼平成23年度関市一般会計補正予算（第1号）▼平成23年度関市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）▼「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止法対策の推進に関する法律」に伴う固定資産税の減価補正に関する全国統一基準の設置を求める意見書▼各常任委員会の閉会中の継続調査

◎6月27日否決分

▼公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書▼浜岡原発の永久停止・廃炉、高速増殖炉「もんじゅ」の開発計画の中止および老朽化した美浜原発、敦賀原発の運転中止を求める意見書

照会先　議会事務局　☎㉓9068